

《小学校高学年部門 優秀賞》

「高齢者の力」

有田市立箕島小学校 4年

池田 達哉 さん



今まで、僕は高齢者の方をあまり良いと思っていませんでした。それは、高齢者の方が、

「こしがいたい。足がいたい。」などと言っているところを見たことがあること、目が悪いや動くことがつらい、そのようなことが多いからです。

ある日、高齢者の方とのふれあい交流会がありました。そこでは、ペタンクと言うスポーツをしました。僕達のチームに、女性の高齢者の方が入ってくれました。この人、上手にできるかなと不安をもっていました。そして、実際に、その方の順番がまわってきました。すると、とても上手くできていました。そこからも、良い記録を出しました。僕達より良かったかもしれませんでした。

このふれあい交流会を終えて、気づいたこと、変わったことがあります。それは、今まで高齢者は悪いイメージの方が多かったけれど、良いイメージが多くなったことです。この交流会で、つらさや苦しさが伝わってきませんでした。そのうえ、スポーツも上手にできる、このようなことから、「高齢者の力つてすごいんだなあ。」と思いました。

そして、生活の中で変わったことがあります。僕の家族は五人でおばあちゃんがいます。交流会から、僕はおばあちゃんとよく遊ぶようになりました。今まで遊ばなかったけれど、一緒に遊ぶと、おばあちゃんも楽しそうで、つらそうには見えませんでした。

この交流会を通して、学んだことが二つあります。一つ目は、高齢者は、まだ若いということです。高齢者になっても、心はまだ若いということです。おじいちゃんやおばあちゃんも、夢や希望を持っていると思います。

二つ目は、高齢者は強いということです。高齢者は、高齢者にしかない力をもっています。それは、経験です。経験は力につながると思いますが。だから、経験豊富な高齢者は、ものすごい力をもっているのだと思います。

僕も、もっと経験を積み、このような力を持ち、周りの人の役に立つことができたいです。